

なかのしょうた
中野 翔太
広告代理店 勤務



応募のきっかけは？

山口県出身の父から協力隊募集について聞き、興味を持ちました。大阪で就職していましたが、クリエイターやアーティストとしても活動の幅を広げたいとの目標があり、また、都会での生活に疲れていた時期でもありました。

着任してみて、想像と違ったことはありましたか？

想像していた以上に自然に触れる機会があり、新鮮な食材を食べ、人間らしい生活ができました。意外なところで人とのつながりが

できたり、そこからチャンスが広がったり、何よりも自分でゼロから企画し、いろいろなことにチャレンジできる機会があることが、良い意味でのギャップになりました。

隊員時代の思い出を教えてください

地域の最初の隊員として着任したので、協力隊についての理解や認知もなく、協力隊に不信感を抱いている方が多くいらして、地域に溶け込むのに苦労しました。メディアへ取り上げられることが多かったこともあり、活動に関しての不満を直接言われたときはかなり精神的にショックを受けました。辞めることも考えましたが、当時担当だった行政の方が耳を傾けてくださり、自分の卒業後の進路に関しても、地域に住むことを強要することなく、将来やりたいことに関して一緒に考えてくださいましたので、なんとか続けることができました。

隊員時代：周南市のラジオ局



現在、そしてこれからについて

独学でWebサイトを作っていましたが、やはりちゃんと学びたいと思い、卒業後にWebデザイナーのスクールに通いました。現在は、広告代理店が運営するスクールのスタッフとして働いています。もちろん、音楽についても、プロの奏者としての道を諦めていないので、ギタースクールにも通い基礎を学び直しています。協力隊での経験や今の仕事、スクールに通って得た知識を生かして自分にしかできないクリエイターとしての仕事をやっていきたいと考えています。ゆくゆくは山口県に住みながら、リモートやインターネット上でさまざまな事業を展開していきたいです。

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

地方は、都会とは違った、人とのつながりから可能性が生まれ、思わぬところにチャンスがあります。着任前に卒業後のことをある程度イメージし、可能性やチャンスを生かしつつ、目標に向かっていくのが、協力隊制度を上手く活用できる方法なのかもしれません。

そして、良いように利用される、便利屋のようになるのは絶対避けた方が良いです。話を聞き、目標と照らし合わせ、「これが本当に自分のやりたいことにつながるのか」を判断する必要があります。お互いが納得できる良い関係や、過ごしやすい暮らしを妥協せず模索してください。



隊員時代：盆栽の生け花イベント▶

なかのしょうた
中野 翔太さん

▶ 協力隊として

| 着任地 | 萩市
| 活動期間 | 2015年10月～2018年7月
| 活動内容 | 萩のおたから(文化遺産)を保存、活用する取組への支援など

▶ 現在の仕事

広告代理店 勤務



隊員時代：ALTとのバンド演奏



中野さんのあゆみ

- 2015.10 ● 協力隊着任
- 2016.04 ● 田万川地域の文化財「おたからマップ」作成
- 2016.12 ● 山口放送のラジオ番組出演(Happy Paradise)
- 2017.04 ● 接客英語ワークショップ企画・実施
- 2017.08 ● 盆栽ワークショップ企画
- 2018.07 ● 協力隊卒業
- 2021.08 ● 就職